



## 上三川中学校版「学校と地域の連携推進モデル事業」

※写真は今年度の上三川中地域学校協働活動

上三川中学校の地域学校協働活動は、学校（地域）資源の梅を活用した梅ジュース作りや、校内で学校支援ボランティアが栽培した野菜を活用した豚汁作りなど、**学校の特色を十分生かしたもの**になっています。

そして今回、モデル事業を実施することにより、地域学校協働活動を通じて、学校支援コーディネーターをはじめとした**地域と学校の信頼関係が構築されていること**を再認識することができました。また、地域学校協働活動に**多くの地域住民が参加し、ネットワークが構築される**とともに、**学校と地域の幅広い連携**につながったと考えています。

ここで、モデル事業実施にあたり、特に御協力いただいた方々を紹介します。

- ・地域連携マイスター 廣瀬隆人さん
- ・学校支援コーディネーター 佐藤広子さん、河合美由紀さん
- ・学校教職員 藤田正義校長、山崎昌彦教頭、野澤栄昭教務主任、松本浩子地域連携教員

本モデル事業の御協力に、心から感謝申し上げます。



学校と地域の連携会議



苗植え



収穫（にんじん）



収穫（はくさい）



池掃除

## 学校支援コーディネーターの思い

学校支援コーディネーターを7年続けている佐藤広子さんに、地域学校協働活動について伺いました。

Q：学校支援コーディネーターとして、大切にしていることについて教えてください。

A：初めは学校と地域をつなぐことだけを考えていましたが、今では子どもたちがやりたいことをサポートすることに重きを置いています。また、一緒に活動する大人が楽しく活動をしていると、子どもたちは安心して活動に取り組むことができます。このため、子どもの失敗を温かく見守る地域の人を集めるようにしています。

ほかには、管理職や地域連携教員をはじめとした先生方と共通理解を図るようにしています。活動時の目標を学校と地域が共有することにより、様々な活動が充実してきました。

Q：地域の人や、学校教職員への一言をお願いします。

A：地域学校協働活動を行うことで、地域の人々のネットワークが構築されます。保護者も地域の人なので、活動に関心をもってください。

先生方にも同じことが言えます。地域連携にもっと興味をもっていただけますと幸いです。私たちは地域を、そして子どもたちを、更によくしていきたいのです。

## 次年度のモデル事業

学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現するため、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」の充実を図ることを目的とした「学校と地域の連携推進モデル事業」は、令和4年度に最終年度（3年目）を迎えます。

次年度のモデル校は、各教育事務所管内の小学校1校、そして中学校1校が指定される予定です。宇都宮市教育委員会、及び上三川町教育委員会との調整により、次のとおり決まっています。

令和4年度モデル校

小学校：宇都宮市立小学校

中学校：上三川町立中学校

モデル校が決まりましたら日程調整の上、事務局職員が事業説明に対象校まで伺いますので、御協力くださるようお願いいたします。

また、次年度につきましても、事業内容等を本紙で伝えていく予定です。

